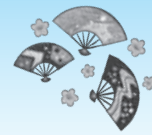
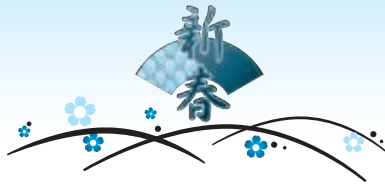


新年のごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。また平素より、市政に対し深いご理解とご支援、ご協力を賜っておりますことに、年頭にあたり厚くお礼申し上げます。

昨年は市長選挙が行われ、無投票当選により、3期目の任期を務めさせていただくこととなりました。新年を迎え、愛する郷土うきはをこれからもしっかりと子や孫に引き継いでいかなければならないと再び決意を新たにしているところであります。

さて、昨年は、1月下旬に日本で初めて新型コロナウイルス感染が確認されて以降、私たちの日常生活や経済活動に大きな影響を及ぼす事態となりました。うきは市におきましても、イベントや行事の中止など、市民の皆さまには大変ご不便をおかけしたところであります。PCR検査体制の充実や市民の皆さまの感染防止対策の徹底により、市内での感染拡大は抑えられていますが、感染の不安を抱えながらの日常生活が今もなお続いております。今後も引き続き感染防止対策を最優先としつつ、市民生活や社会経済活動への影響を最小限にとどめるため、感染症対策に全力で取り組んで参ります。皆さまには、引き続き感染予防及び拡大防止のために、マスク着用・咳エチケットの徹底等の対策に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

また、7月の熊本県を中心とした豪雨災害や9月の台風9号・10号の接近など、日本各地で多くの自然災害がありました。改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。うきは市におきましても、7月豪雨は平年の7月降水量の3倍以上、年間降雨量の6割となる記録的豪雨となり、市内の道路・河川並びに農地等に対する被害が発生しました。小規模災害についてはすぐに復旧を行い、被害が大きかったものについては、順次国の災害査定を受けながら復旧作業を行っているところであります。市民の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。



うきは市長 高木 典雄

令和3年を迎え、うきは市のマスタープランである「第2次うきは市総合計画」は、4月以降「後期基本計画」がスタートします。当計画においては、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて「誰一人取り残さない社会づくり」や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として「新しい生活様式を踏まえたまちづくり」に資する取組を進めるとともに、新しい社会（Society5.0）の実現に向け、情報通信技術を取り入れながら、経済と社会問題の解決を目指して参ります。

地方創生に関しましても、令和元年12月に閣議決定された「第2期まち・ひと・しごと総合戦略」が目指す、「活力ある地域社会の実現」と「東京圏への一極集中の是正」に取り組むとともに、うきは市におきましても、地方版総合戦略の「第2期うきは市ルネッサンス戦略」を新たに策定し、人口減少と地方創生に向けた施策を重点的に取り組んで参ります。

うきはの地にある素晴らしい自然環境や人々のつながり、これまで先人が築いてきた地域の伝統、文化など価値ある貴重な資源や財産の特性にさらに磨きをかけ、「内発的発展」と「地域力創造」を目指した新しいうきは市をつくり上げて参りたいと強く思っています。生活環境や地域力の向上を図ることにより、いつまでも住み続けたいと思える、まちづくりを推進し、誰もが健康で心豊かな生活が送れ、次代を担う子供たちのために、誇りと希望に満ちたうきは市のまちづくりを市民の皆様とともに進めて参ります。市民の皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますことを心より祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。